

柏ふるさと公園における 「みんなの遊び場」整備概要

令和5年4月
柏市

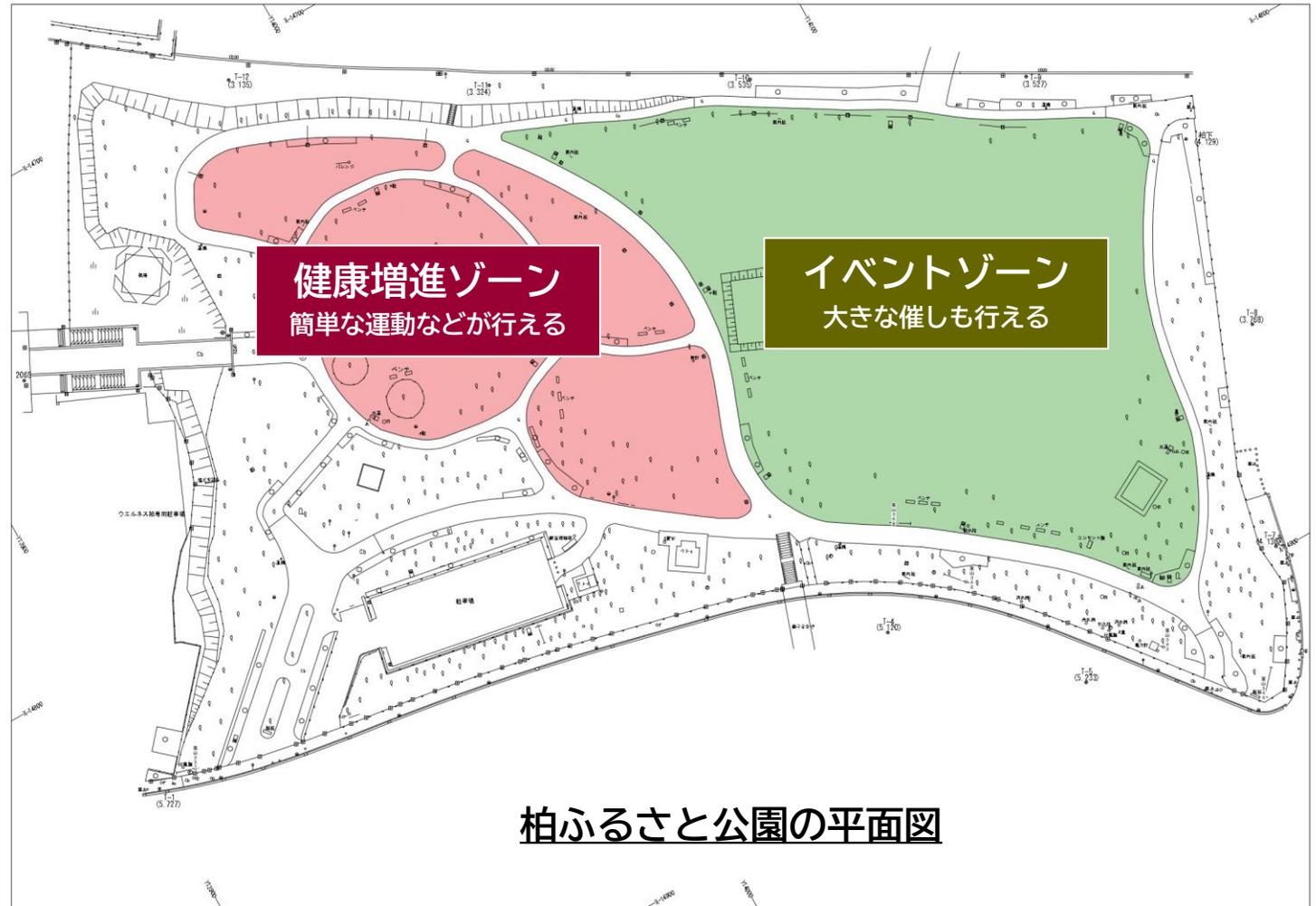
@柏ふるさと公園
インクルーシブに配慮した遊具の設置や車いすで使用しやすい、平坦で衝撃を緩和するゴムチップ舗装など、「みんなの遊び場」として整備し、令和5年4月にオープン

1 柏ふるさと公園の概要

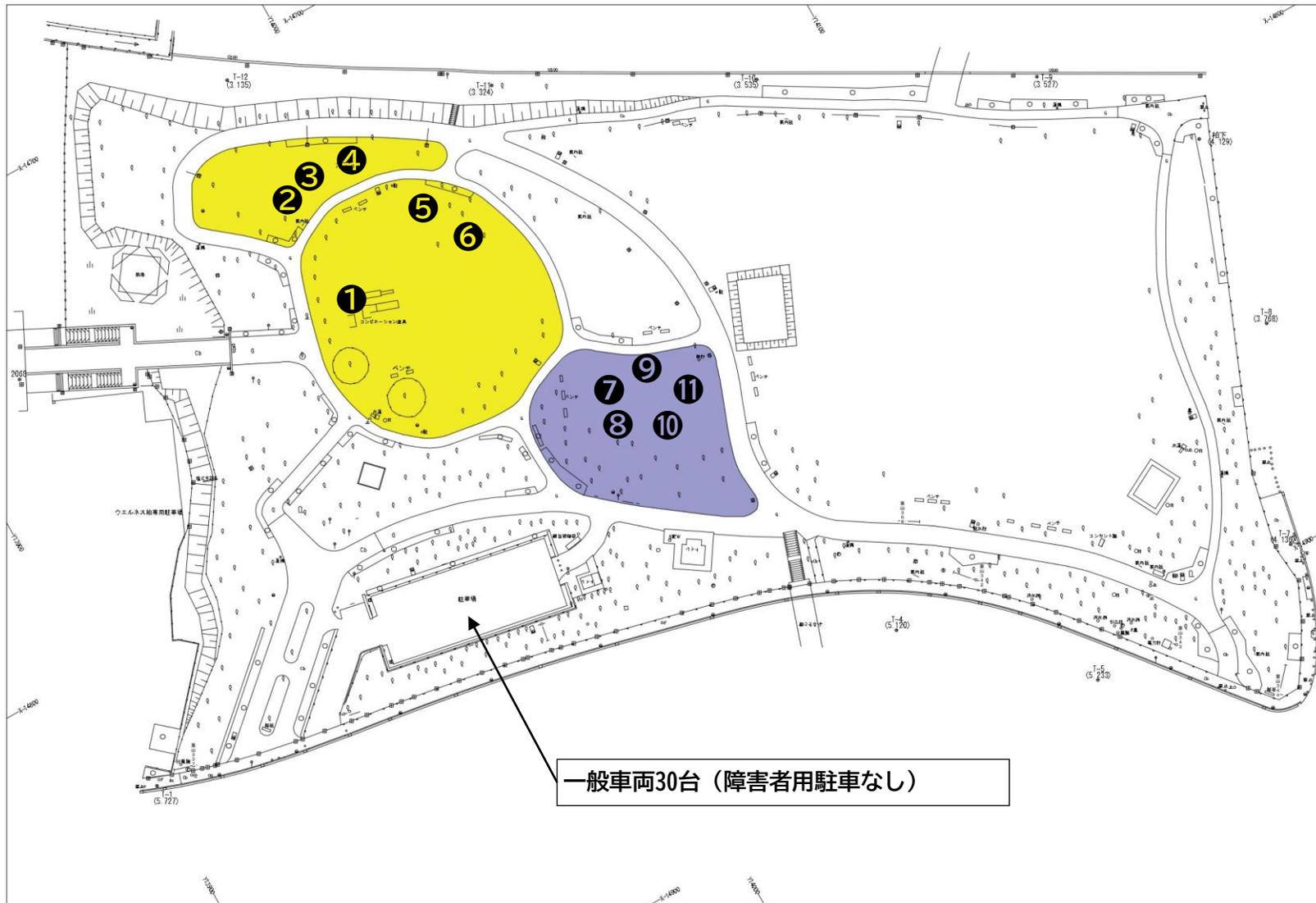
「柏ふるさと公園」は、平成2年3月に設置された近隣公園(都市公園)です。なお、公園面積は3ヘクタールです。

本公園の設置時における基本方針は、以下のとおりです。

- 市及び本公園の中心的イベントの場、多世代における健康増進の場
- 手賀沼と柏駅中心市街地の双方の余暇活動を結ぶ中継点となる場
- 中心市街地で不足する様々な活動を受け入れつつ、時代の変化にも対応していく場
- 手賀沼の眺望の場
- 四季の変化が鑑賞でき、活動を効果的に演出する緑地



2 既存遊具概要



既存遊具ゾーン

遊具種別	台数	設置年
① 中型複合遊具	1	1990
② 小型複合遊具	1	2016
③ ロッキング遊具	1	2018
④ ロープウェイ	1	1990
⑤ 小型複合遊具	1	1990
⑥ 小型複合遊具	1	2017

健康遊具ゾーン

遊具種別	台数	設置年
⑦ ダブル踏み台昇降	1	2018
⑧ ぶらぶらストレッチ	1	2018
⑨ うであげアーチ	1	2018
⑩ 腕のばし測定	1	2018
⑪ バランス円盤	1	2018

3 既存遊具概要

一般遊具ゾーン

① 中型複合遊具



④ ロープウェイ



② 小型複合遊具



⑤ 小型複合遊具



③ ロッキング遊具



⑥ 小型複合遊具



健康遊具ゾーン

⑦ ダブル踏み台昇降



⑩ うであげアーチ



⑧ ぶらぶらストレッチ



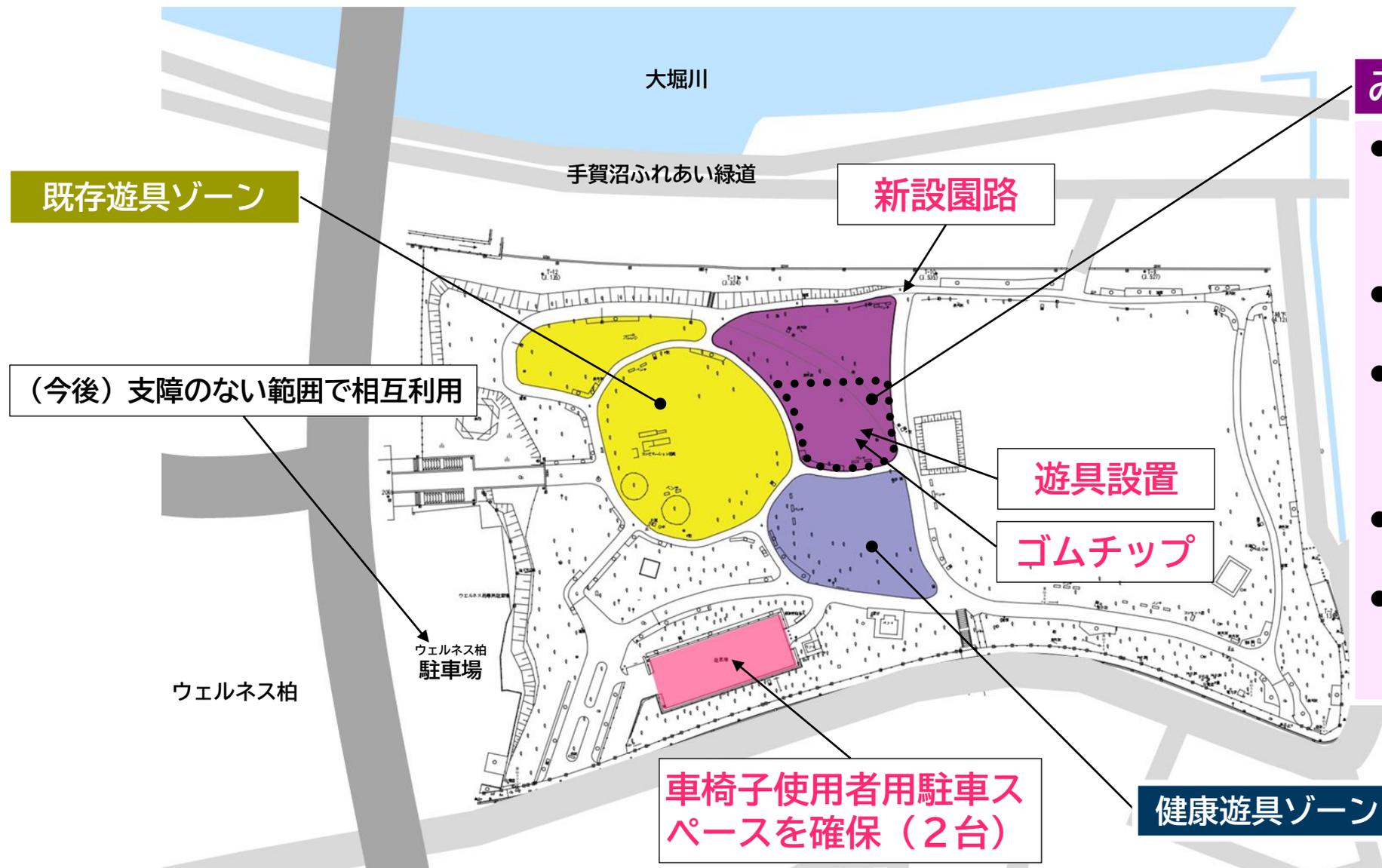
⑪ バランス円盤



⑨ 腕のばし測定



4 みんなの遊び場ゾーニング



みんなの遊び場ゾーン

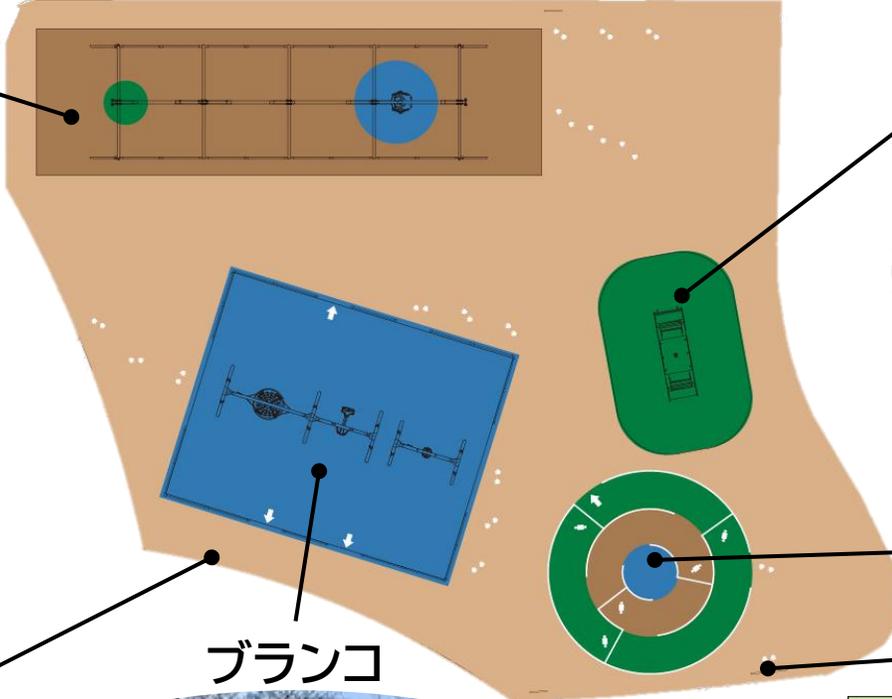
- 既存園路を改修し、健康増進ゾーンを拡大することで、まとまった一団のエリアを確保しました。
- 周囲に柵は設けず、入りやすいエリアとしました。
- 遊具設置エリアは、平坦にし、ゴムチップ舗装によりアクセス性を確保しました。
- ベンチ等の休憩施設を設けました。
- みんなの遊び場設置の趣旨等を記載した看板を設置しました。

5 みんなの遊び場エリア図

ターザンロープ



シーソー



ブランコ



迷路

看板

ベンチ



みんなの遊び場 へようこそ
Welcome to our Inclusive Playground

ゆるりあって遊ぼう
Share and play with each other



ちからいっぱい はしりまわる子
Children who run around fast



ゆっくり チャレンジする子
Children who take challenges slowly

みんなといっしょに あそびたい子
Children who want to play with others

おおぜいであそぶのが にがてな子
Children who are not comfortable playing in groups

いろいろな子どもたちが たのしくあそべるよう
To help diverse children have fun

ゆるりあい たすけあって
Let's play together and help each other

なかよく あそびましょう

ひとりひとり こそい そちよう あそ ば
子ども一人一人の個性を尊重する遊び場です
A playground designed to respects each child's individuality.



みんなの安全のために
For Safe Use



道草がぬれている時は
遊ばないでください
Don't use the playstructure when it is wet



荷物やマフラーなどは
はずして遊ばせよう
Please remove luggage, scarves, etc. to play

資料編

1 遊具選定に対する考え

遊具メーカー7社から提案のあった遊具から、障害福祉施設事業所へのヒアリングや障害者等へのアンケートを通じて、下記の4つの観点から、3つの遊具を選定しました。

4つの観点	ターザン ロープ 	ブランコ 	シーソー 
① 障害のある子, ない子, 大人が一緒に遊べる遊具(複数で遊ぶ)	×	○	○
② ニーズのある遊具 (アンケート及びヒアリングから)	ニーズあり	ニーズあり	ニーズあり
③ 協力しながら遊べる遊具	○	○	○
④ 普段遊びでは経験しにくく, 子供の発達に, 刺激を与えられる遊具	特に大きい	大きい	大きい

2 みんなの遊び場に関する声

種別	主な声	市の考え(柏ふるさと公園へのみんなの遊び場の設置)
みんなの遊び場の設置について	<p>障害のある子専用の遊び場をつくってほしい。 小さくても遊具がなくてもよいので専用にしてほしい。</p>	<p>公園におけるインクルーシブは、障害のある子、ない子も区別なく、気兼ねなく、一緒に遊ぶ事が理想です。一方、現状は、障害のある子がいる世帯のうち、公園で遊ぶ事に気を遣っている方は、82%と非常に多く、気を遣わない方は6%しかいない結果でした。理想と現状に大きなギャップがあります。</p> <p>このことから、障害者ための専用エリア又は優先エリアを設けることに対する考えを確認したところ、希望する方は35%、特にエリア分けを行わない考えの方は60%でした。障害福祉事業所へのヒアリングでも、エリア分けを行わないほうがよいという意見が聞かれました。</p> <p>以上を踏まえ、市としては、専用エリアや優先エリアを設けず、遊ぶ事自体に気を遣っている多くの方のハードル少しでも下げていくような環境を模索したいと考えています。そのためには、広場の趣旨等を啓発するほか、障害のある方が日常的に利用している広場となっていくことが第1歩と考えており、まずは場の周知や定期的に遊具を体験する場を設けるなど、その機会をつくっていきたいと考えています。</p>
	<p>障害のある子を受け入れる環境を整えてほしい(一般の方の理解・配慮)。</p>	<p>遊ぶ事自体に気兼ねせず、遊べる公園づくりを目指します。まずは、今回、みんなの遊び場を設置する柏ふるさと公園がそのような場となるよう、場の周知や定期的に遊具を体験する場を設けるなど、その機会をつくって、みんなの遊び場の在り方を模索していきます。</p>
	<p>障害の有無に関係なく、みんなが楽しむ公園がよい。</p>	<p>障害のある子のための専用又は優先エリアの区分は行わず、みんなが遊べる広場を設置しました。</p>
	<p>偏見の目が無くなれば、気兼ねなく遊べる。</p>	<p>偏見のない社会の実現に、今回の取り組みが少しでも、きっかけになればと思っています。みんなの遊び場の在り方(運用)の中で、様々な方の意見を伺いながら、模索していきます。</p>
	<p>障害への配慮を意識しすぎず、増やしてほしい。</p>	<p>今回、柏ふるさと公園に設置するみんなの遊び場の使われ方を見ながら、今後、検討していきます。</p>

種別	主な声	市の考え(柏ふるさと公園へのみんなの遊び場の設置)
アクセス	アクセス性を向上させてほしい(車椅子利用)。	車椅子でも移動が円滑になるよう、勾配や園路幅員を確保するとともに、遊具エリア内はゴムチップ舗装を行いました。
	駐車場を確保してほしい。駐車場が少ない。	車椅子利用者用駐車スペースを、園路に最も近い場所に確保するとともに、可能な範囲で近隣公共施設との相互利用を図っていきます。
休憩施設	座るスペースを設けてほしい、(災害時はトイレや竈)	座る事が可能な休憩スペースを設けました。
	テーブルがあると、飲食ができ、便利です	今回は、設置しませんが、今後、設置を検討していきます。
安全・安心	遊び場に柵を設けてほしい 道路に飛び出しにくいように完全に囲ってほしい	アンケートでは、柵を設けることに対して、望ましい人は66%、望ましくない人は4%となっています。一方で、今回設置するみんなの遊び場は、道路から距離がある位置にあり、安全性を確保できるほか、非常に狭いエリアであることから、柵を設置することにより閉塞感を感じたり、遊びにくくなることも想定されます。そのため、今回は柵は設けないこととしました。 今後の利用状況やご意見等から、必要に応じて、柵をつけることも検討します。
	障害の度合いや特性など、危険性の考慮が必要では。	様々な障害のある方がいるため、公園の利用状況をみながら、危険性も考慮していきます。
	人目につく、安全な場所であってほしい。	整備するエリアは、見通しのよいエリアとなっており、人目につきやすい安全な場所と考えています。
	転んでも痛くない床材を検討してほしい。	エリア内全面に衝撃を緩和するゴムチップ舗装を行いました。
	どんな遊具でもインストラクターや監視が必要かと思う。	常時、インストラクターを配置することは困難ですが、定期的に遊具の使い方等を学ぶ場等を設けて、より良い広場になるよう模索していきます。

種別	主な声	市の考え(柏ふるさと公園へのみんなの遊び場の設置)
遊具	肢体不自由の子も遊べる遊具を設置してほしい。	肢体不自由の方でも遊べるよう、今回、背もたれやベルト付きシートのある遊具を設置しました。
	車椅子やバギーなどが、遊べる遊具がほしい。	遊具別のニーズや遊具設置に対する広場の有効面積を踏まえ、今回は、車椅子等に乗ったままで、遊べる遊具の設置は行いませんでした。一方で、車椅子から移動しやすいシーソーやシートがついている遊具などを設置しました。
	タイヤや箱形ブランコがほしい、通常の公園にあるブランコは、体制維持等が難しく、乗ることができない。	姿勢保持できるよう、ベルトがついているもの、背もたれのある遊具を設置しました。
	簡単な水遊びできる施設がほしい(噴水など)。	広場の設置スペースやニーズ等も踏まえ、今回は、遊具3基(シーソー、ブランコ、ターザンロープ)を設置することしました。
	大人、兄弟と一緒に利用できるシーソーや滑り台、ブランコなどがあるとよい。	兄弟や親子など、複数の人数で遊べるシーソーやブランコを整備しました。
	光るものやどろんこ遊びなど感覚遊びができる遊具。	広場の設置スペースやニーズ等も踏まえ、今回は、遊具3基(シーソー、ブランコ、ターザンロープ)を設置することしました。
	何度も遊びたくなるインパクトのある遊具がほしい。	国内初のシート付きのターザンロープを設置しました。その他、みんなで遊べるシーソーや親子で乗れるブランコなど他の公園にはない遊具を設置しました。
	障害の種類、程度によって体験させたいこと、配慮してほしい内容が変わる。	様々な声を聞きつつ、今回は、複数で一緒に遊べる、協力して遊ぶといった観点から遊具を選定しました。
	大型複合遊具より、小さな遊具が複数あるほうが、障害児にとっては使いやすい。	大型の複合遊具1基ではなく、単体遊具3基を導入し、選択肢が増えるようにしました。

3 公園全般に関する声

種別	主な声	市の考え
公園全体	柏の葉のような歩いて楽しい公園がほしい	現時点で、柏の葉のような大規模の公園の新設は想定しておりませんが、新設公園や既存の公園の改修時にウォーキングといった観点も検討していきます。
	小さな動物園や水族館等がある公園がほしい	現時点で、動物園や水族館の設置は想定していませんが、まずは、既存の公園の魅力向上に努めていきたいと考えています。
	公園が、社会に出る前の練習として「小さな社会」の役割をになってほしい	公園自体が、様々な機能を持てるように、画一的な公園ではなく、特色ある公園づくりを目指していきます。
	柏駅周辺に公園を設けてほしい	令和4年度に、公園ではありませんが、「柏駅前賑わい創出事業(GREEN UP KASHIWA)」において、緑、ベンチ、遊具などがある公園的な空間を柏駅東口に設置しました。
	北部だけでなく、万遍なく公園整備してほしい	北部地域は、新しいまちづくりを行っており、区画整理法に基づき、義務付けられている公園の整備を進めています。一方で市内には、700近くの公園があり、まずは既存の公園の魅力向上に努めていきたいと考えております。
	大きな公園が必要	市内には、手賀の丘公園をはじめ、あけぼの山農業公園など、数は少ないですが、何か所か大きな公園があります。市では、これらの大規模公園の魅力向上を進めております。
	北部の公園は、広さの割に遊具数が少ない。	今後、北部地域に設置する新規の公園整備において、検討していきます。
	衛生面から犬の散歩を禁止してほしい。	公園は、幼児からお年寄りまで幅広くご利用いただいておりますが、犬の散歩を禁止しておりません。しかしながら、ペット等が苦手な方や衛生面から気になる方も多くいらっしゃるのが事実です。そのため、他の利用者に対しても配慮を行いながら、散歩していただくようお願いしています。
駐車場	駐車料金を無料化してほしい	無料の駐車場は、車内で休憩する場として使われるなど一部の方の利用によって、公園利用者が駐車できなくなるといった課題があります。そのため、公園の特性に応じて、より多くの方にご利用いただくため、一部の公園では、駐車場の有料化を行っていますが、1時間無料にするなど、料金体系で工夫していきます。
休憩施設	公園に日陰がほしい(自然を活かした緑陰, 屋根)	公園の新設, リニューアルにあたっては、日陰に配慮した設計を行うよう努めていきます。

種別	主な声	市の考え
衛生施設	トイレを整備してほしい(小さな公園でも)	市内には700もの公園があり、トイレ整備には1箇所あたり数千万円の整備コストがかかることから、公園の規模や利用状況、上下水道の整備状況等に応じて、トイレを設置することとしています。
	洋式化, バリアフリー, 荷物置場やユニバーサルベットがほしい	洋式化やバリアフリー化についても、進めていきます。また、荷物置場やユニバーサルベットについては、個別具体的なニーズに応じて、公園毎に利用の状況も踏まえながら、検討します。
	綺麗なトイレにしてほしい	定期的にトイレ清掃を行っていますが、公園によっては常時行えていないことや老朽化による汚れ等があり、ご利用にご不便おかけしております。今後、トイレの美化について、清掃手法等を検討していきます。
	障害者用トイレと子供用トイレを別にしてほしい	トイレの設置や改修がある際は、設置スペースや公園利用の形態等を踏まえ、公園毎に検討していきます。
屋内施設	雨の日でも遊び, 休憩で利用できる施設があるとよい(エアコン完備)	雨の日等における公園での過ごし方において、屋内施設は非常に重要であり、ニーズも高いと思っております。一方で、屋内施設整備には規模の大きな公園であることが必要であることやコストがかかることから、新設公園や既存の公園の改修時に検討していきます。
維持管理 安全性	植栽メンテナンスを回数無制限にしてほしい	市内には700もの公園があり、コスト面から植栽の管理回数を無制限で行うことはできません。まずは安全面を第一に、景観等も含め、維持管理を行っていきます。
	鳥や魚, 花や植物を子供に見せたい	市内には、自然あふれた公園や花の公園があります。情報発信や周知に努めるとともに、特色ある公園の既存の魅力を高めていきたいと思っております。
	公園周囲が樹木で, 見通しがよくない	維持管理において、必要に応じて間伐や剪定等を実施し、見通しを確保するよう努めていきます。
	公園内を明るくしてほしい	個々の公園について、具体的な要望があった際は、その公園の状況に応じて検討していきます。
	遊具のサビなど遊べる状態ではない。子供が安心して遊べる公園にしてほしい。	毎年、遊具の点検を行っております。その結果を踏まえ、適宜修繕等を行い、安心してご利用いただけるよう努めていきます。

種別	主な声	市の考え
遊具等施設	砂場, 雲梯, 未就学児向けの滑り台やジャングルジムがほしい。	公園遊具の更新の際に, 地域ニーズ等を踏まえ, 検討します。
	大型遊具で階段ではなく, 綱のハシゴとなっている危険な遊具がある。子供の安全面, 難易度を考えるべき。	子供の遊びには, リスクとハザードがあると考えます。リスクは, 遊びを通じた冒険や挑戦であり, 子どもの発達にとって必要なものでもあります。一方で, ハザードは, 事故を発生させるおそれのある危険性で, 未然に予防する必要があるものです。市では, この両面を踏まえた公園施設業協会の基準に基づく遊具を採用しておりますが, ご意見を踏まえ, 公園設計時には十分配慮していきます。
	遊具更新において使用禁止期間が長すぎる, 禁止期間が明記されていない。	市内の遊具を毎年順番に更新しておりますが, 使用までお時間いただき, ご不便おかけしております。可能な限り早くご利用いただけるよう, 国の補助金等の財源を確保に努めていきます。また, 更新の時期が決定した際は, 掲示するなど, 周知を行います。
	遊具周りは砂ではなく, 芝生にしてほしい。	遊具周りは踏圧されるため, 芝を貼った場合, 芝が枯れてしまうことが予想されます。このことから, 砂埃が舞いにくいダスト舗装などを採用しています。
	おむつでも水遊びできるところがほしい。	おむつ着用での水遊びは, 衛生面から様々なご懸念の声があります。一方で, おむつ着用する年齢の子が貴重な水遊びを体験する機会を失っていることも重く受け止めています。今後, 何らかの形でおむつの子も遊べる水遊び場ができないか, 検討していきます。
	噴水の水遊び施設が他県に比較して少ない。	令和4年度に北柏ふるさと公園において, 水遊びできるポップアップ噴水の試験運用を実施しました。この試験運用において, 一定のニーズもあったことから, 今後, 新設する公園等において, 新たに水遊び施設を設置することとなった際は, 噴水施設も含めて, 検討していきます。
	アンデルセン公園のように敷地に, 遊具や芝生など多様性がある公園がほしい	アンデルセン公園のような規模の公園は, 市内では千葉県が所有する柏の葉公園しかありません。そのため, 同じような形は難しいですが, 既存の公園で特色ある公園づくりを目指していきます。
	子供がボール投げができるようお願いしたい	ボール遊び自体は禁止していませんが, 危険なボール遊び, 他の公園利用者の妨げになる遊びはご遠慮いただいております。そのため, ボール遊びに対する公園利用者や公園周辺にお住まいの方などの理解が重要だと考えており, 町会などの地域や公園近隣にお住まいの方から, ボール遊びのニーズがあった際は, 地域と一緒に公園の運用を検討していきます。